

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

SUPPORTERS

サポーターズ

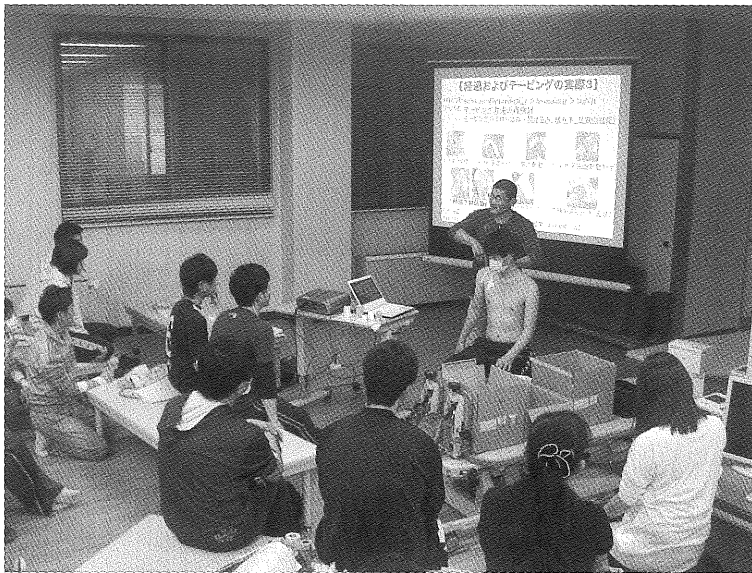
No.143 2014 冬号

一般社団法人

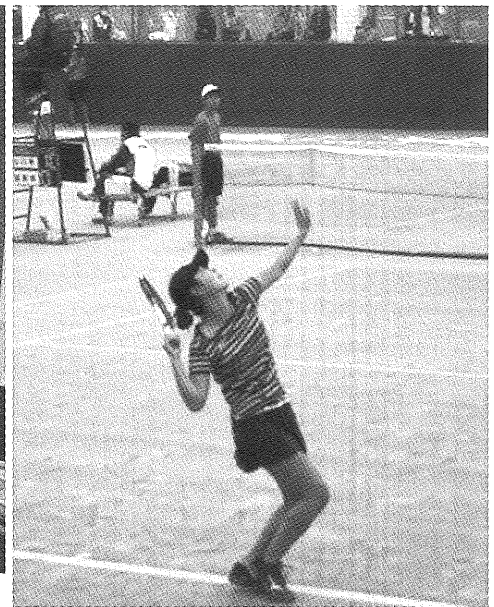
山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 748 名

施設数 120 (12月13日現在)



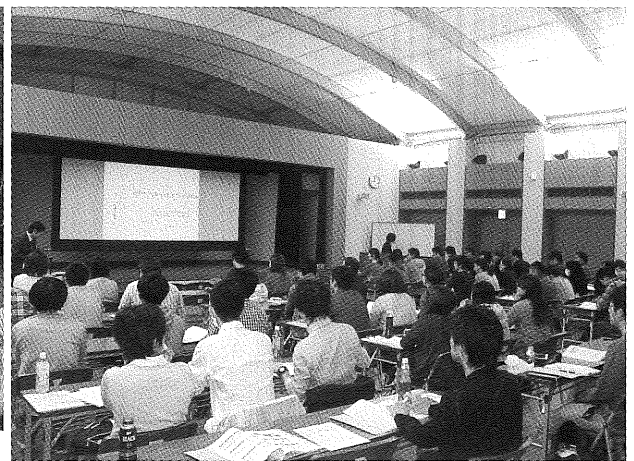
▲ ボランティアスタッフ勉強会の一場面



◀ スポーツPT部 山梨学院テニス部サポート



▲ 第5回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会 ▶



Contents

特集 委員会活動報告

インターハイ活動報告… 2～3

第5回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会… 4

各部活動報告… 5～7

● 広報部 ● スポーツPT部

● 医療保険部・介護保険部 ● 生涯学習部

お知らせ… 8～10・13

● 公開講座部 ● 事務管理局

● 地域連携部 ● 学術研修部

● 関東甲信越ブロック学会準備委員会

リレーエッセイ Part 25… 11～12

原稿募集… 12

編集後記… 13

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、「支える人」という意味の supporter に複数形の S を加え、supporters : 支える人たち(造語)の意味です。



委員会 活動報告

インターハイ活動報告

この夏、高校生最大のスポーツイベントである全国高等学校体育大会（以下、インターハイ）が南関東ブロック大会として山梨県・神奈川県・千葉県・東京都の1都3県で開催され、熱戦が繰り広げられました。山梨県では陸上競技・卓球・男子サッカー・ボート・自転車・ホッケー・ウェイトリフティング・カヌーの8競技が開催され、山梨県理学療法士会（以下、県士会）では、インターハイサポート委員会を立ち上げて、ウェイトリフティング・卓球・自転車競技の3競技にメディカルサポートを行いました。

このインターハイに係るにあたり、平成22年に県士会でボランティア参加することを決定し準備を進めました。県高体連準備室、県インターハイ準備室、開催競技専門部、市町実行委員会など、様々な団体との交渉や調整に努め、特に運営や予算の折衝、会議への参加、会場視察などのために度重なる訪問をして対応しました。平成23年からはボランティアスタッフを募集し、平成24年7月のキックオフ研修を皮切りに、9月から本格的に教育研修を開始、全19回実施しました。その内容はスポーツ傷害の診断と治療、応急処置法、テーピングやマッサージ・ストレッチなどの方法を講義と実技を織り交ぜ、できるだけボランティアスタッフの皆様方が現場で困らないように努めました。平日の業務終了後や休日には県内強化指定高校などへも出向き、各競技の選手への対応も行いました。

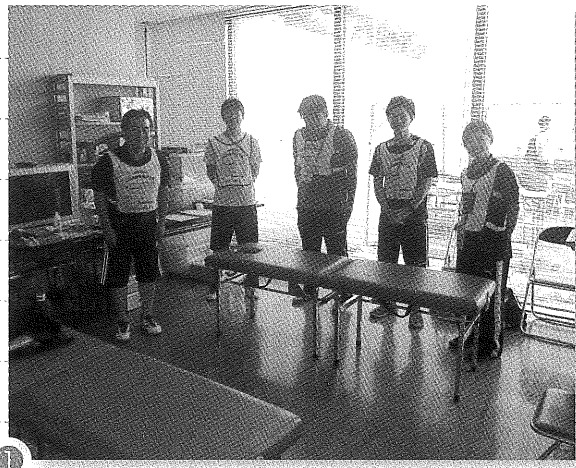
このような準備を重ね、いよいよ本番。8月2日から9日の8日間に3競技5会場（延べ17会場）を24施設61名（1会場につき約5名を配置、延べ76名）のスタッフで対応しました。メディカルサポートの利用は計247件であり、競技別にみるとウェイトリフティング123件・卓球86件・自転車競技38件でした。これを治療目的別にみると筋緊張軽減を含むリラクゼーション253件、除痛227件、関節可動域拡大163件の順に多く、治療内容別ではストレッチ328件、マッサージ251件、各種徒手療法140件の順であり、不調部位への治療やコンディション調整が多くありました。

イベントの予算規模縮小が求められる現在に、新たに事業を起こす困難さを感じました。その中でも必要とされ参入した3競技では、関係者に好評と感謝を受け、ボランティアスタッフの皆様方からも“かかわることができて良かった”との感想がほとんどで問題もなく、無事に終わることができたということは成功であったと思われれます。この成功の背景には、先に述べたことに加えて、県士会をはじめ、ボランティアスタッフの皆様方やボランティアスタッフの勤務する職場の皆様方の多大なるご協力があったためと考えております。反省点としては、私自身の力量のなさから多くのボランティアスタッフの皆様方を上手くまとめ、緻密に連絡を取る体制づくりが不十分であったことで、皆様方には大変迷惑をかけてしまったことが挙げられます。すみませんでした。

これから先、県内でこのような全国規模の大会が開催することもあるかと思えます。過去2回の冬季国体や今回のインターハイでの経験も踏まえ、スポーツ理学療法部では今後も理学療法を通して、県民スポーツに貢献できるように努めていきたいと思っております。そのためには、県士会員の皆様のお力が必要になると思っておりますので、今後ともご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願ひします。

最後に、山梨県以外では県士会として今回のインターハイに関わったところはありません。これを自信に、スポーツの領域も、また他の領域においても、県士会員の皆様が一丸となって山梨の理学療法を盛り上げていければと思っております。

ありがとうございました。



① 理学療法サービスコーナーにて



② 選手対応中



③ ウェイトリフティング会場 表彰式&記念撮影



● 問い合わせ先：インターハイサポート委員会 小林幸一郎
(独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院 理学療法室内 TEL 055-252-8831)



第5回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会

山梨県訪問リハビリテーション協議会

山梨県訪問理学療法士会訪問理学療法委員会 小林 司

平成26年10月25日・26日、第5回山梨県訪問リハビリテーション実務者研修会を開催しました。参加者の内訳は、理学療法士35名、作業療法士26名、言語聴覚士6名の計67名で、全過程を終了し受講証を手にした方は44名でした。

今回の研修会は、例年以上にハプニングが続出しました。①当初予定していた会場が急遽使えなくなり1か月前に会場変更。②変更した会場は駐車場が少なく参加者の皆様には大変なご迷惑をかけた。③会場にプロジェクターがなく、開始数分前に、近隣病院の物を借り対応。④プレゼン用のデータを会場パソコンに入れ忘れるなどなど、たくさんの壁を乗り越えての大成功？となりました。

「みんなで出よう！明日から訪問リハビリ！」をテーマに一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団より提示された「地域包括ケアシステム」「フィジカルアセスメント」を含む7講義10時間を実施しました。訪問リハビリテーション振興財団より研修班班長露木昭彰氏(PT)、また、訪問リハビリテーション協会より副会長山口勝也氏(ST)をお招きし、第一線で活躍されている先生方のお話を昼も夜も聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。来年度以降も引き続き、訪問リハビリテーション実務者を輩出できるよう協議会では取り組んでいきます。

また、今年度は振興財団より訪問リハビリテーション実務者研修会のシラバスが提供され、全国均一の質・量の担保が確立され、県を超えての受講が可能となっています。さらに実務者研修会を受講しないと訪問リハビリテーション管理者育成研修会(STEP1・2・3)の参加が認められないといった階層性を持った研修体系が取り入れられました。詳しくは訪問理学療法委員会までお問い合わせください。



① 甲府共立診療所 訪問リハビリテーション事業所

柴田佳介先生

② 石和温泉病院 清水真治先生

●問い合わせ先：訪問理学療法委員会 小林 司
(石和温泉病院 理学療法室内 TEL 055-263-0111)

各部 活動報告

広報局 広報部発

□「理学療法川柳 優秀作品決定!!」

去る10月3日 川柳優秀作品選定会議を行い、応募総数234句から優秀作品6点が決定致しました。川柳作家の先生を選定委員に依頼し、小林会長・磯野副会長・青柳広報局長と私とで選定会議を行いました。素晴らしい作品が多く選考には難儀でした。

最優秀賞に選ばれました手塚教子さん(71歳)に10月15日自宅にて賞状を授与し、お話をする中で「7月のイトーヨーカドーでの広報活動で理学療法のことを知り、友人からの勧めもあり今回応募しました。最優秀賞に選ばれ驚いていると同時にとてもうれしいです。」と感想をいただきました。

初めての試みでしたがたくさんのご応募ありがとうございました。

広報部 清水真治



	佳作	優秀賞	最優秀賞		
療法士愚痴も痛みもさらけ出し 中込 悟	もう一回うながす声に支えられ 伊藤要子	人生のサポートも抱く療法士 鶴田甲敬	リハビリで夢がふくらむ夫婦旅 めおと 橋本朝子	訪問のリハに命の重さ知る 井上信太郎	療法士試歩の一步に目が潤む 手塚教子

社会局 スポーツPT部発

□ 学院大女子テニス選手 国体優勝おめでとう!!

石和南整形外科クリニック 庄子理絵

今年の10月、第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体2014)が開催されました。多くの山梨県選手が活躍した中、今回私たちのサポートする山梨学院テニス部から久次米夏海選手・本郷未生選手が成年女子の山梨代表として選ばれ、見事優勝を果たしました!!

対戦相手はプロもいる中、決勝までストレート勝ち。久次米選手は全戦負けなしという圧勝でした。優勝インタビューでは「指導者やチームメイト、日頃のケアなどお世話になっている方達の支えがあったからこそ」と、感謝の言葉を口にしてくれました。



二人ともまだ3年生で、他校からもモテモテ可愛い本郷選手はキャプテンとしてチームを引っ張り、また関西弁おしゃべりの久次米選手はチームのエースとして、来年も更なる活躍が期待できる選手たちです。春の「甲府国際オープンテニス」にも出場するので皆様是非応援に来てください。私たちサポートする側もレベルの高いところで戦う選手に見合う質の高いサポートができるよう日々精進していきたいと思います。

□ 帝京第三高校女子バレー部に帯同して

貢川整形外科病院 森田絵美

スポーツ部では、今年度より帝京第三高校女子バレー部に介入するようになり、私もその一員として帯同させて頂いています。同バレー部は、山梨県内では常に優勝争いを繰り広げている強豪校です。PT2年目の私が、強豪校選手のコンディショニングや傷害に対応するには不安もありましたが、一緒に帯同している2人の先輩や定期勉強会での助言や励ましを頂き、職場とは違うやりがいを感じながら、その任を担っています。選手にとって怪我は選手生命にかかわる重要な問題であり、コンディショニングが重要です。しかし、十分に練習したいがために、多少の違和感や疼痛では、それを訴えることなく練習に参加している選手もいます。小さな綻び(違和感)が大きな穴(怪我)とならぬよう、未然に防ごうとすることが大事だと考えています。選手の動きや選手とかわす何気ない会話から変化を読みとり、最高のコンディショニングに整えることができるサポーターでありたいと思っています。



● 問い合わせ先: 社会局スポーツPT部 小尾伸二

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

福祉厚生局 医療保険部・介護保険部発

□ 医療・介護報酬に関する基礎的研修会報告

医療・介護報酬に関する基礎的研修会を10月21日(山梨県青少年センター)、10月23日(敷島総合文化センター)に開催しました。テーマを「自分が働く保険制度を確認しよう」とし、より多くの会員の方に出席していただけるように同一内容を2会場の開催としました。参加者は両会場合わせて50名でした。

研修会は、医療・介護保険制度の基礎的内容からリハビリテーション分野における診療・介護報酬、そして地域包括ケアシステムについての内容でした。アンケートでは今回の研修会が勉強になったという回答が多かったですが、言葉(用語)が難しい、内容が難しいという意見もあり、今後、検討し解消していきたいと思います。

保険制度や報酬の知識を得ることは、大切なことだと思います。来年度も研修会の開催を予定していますので、多くのご参加をお願い致します。

医療・介護保険部

- 問い合わせ先：医療保険部 小林泰彦 (rehabili@shiranetoku.jp)
介護保険部 河野裕一 (im-rehabili@kyonan-mc.jp)

学術局 生涯学習部発

□ 新人教育プログラム活動報告 I

平成26年度の新人教育プログラムが始まりました。8月18日では、山梨県立青少年センターにて山梨県理学療法士会会長、小林伸一先生のお話から始まり、リハビリセンター柏塾の遠藤公士先生に講義をして頂きました。小林先生には労働法を含んだ理学療法における法律や理学療法の制度の改革といった歴史についての講義をして頂きました。遠藤先生には生涯学習や理学療法の専門領域についてのお話をして頂きました。私たちが行う理学療法には基礎、神経系、運動器系、物理療法、内部障害を始めとし、生活環境支援、教育・管理といったものまでの様々な分野があり、新人プログラム修了後には各々の興味のある分野への学習を行い、知識を深めていけることを学びました。二つの講義から、理学療法士として一人ひとりが言動や行動に責任を持ち、患者様に接していくことが重要であると思いました。また、より良い理学療法士を目指して山梨県の仲間たちと知識を深めていきたいです。

山梨リハビリテーション病院 荻野芽生



- 問い合わせ先：学術局生涯学習部 遠藤公士
(リハビリセンター柏塾 TEL 0553-39-8433)

平成26年度 公開講座案内

- 講 師：京 谷 和 幸 さん（元車椅子バスケットボールプレーヤー）
- テーマ：車椅子のJリーガー ～出会いに感謝！ 出会いの素晴らしさ～
- 日 時：平成27年3月1日（日） 14：00～（13：30開場）
- 会 場：甲斐市敷島総合文化会館
- 問い合わせ先：企画局公開講座部 上田

（恵信りほく病院リハビリテーション室内 TEL 0551-28-8821）

京谷和幸さん プロフィール

ジェフ市原（現・千葉）のMFとして活躍するも、交通事故で脊髄損傷になり車椅子生活となる。リハビリの一環として始めた車椅子バスケットボールに魅せられ、シドニー・アテネ・北京・ロンドンパラリンピックに日本代表として出場。2012年引退。障害者スポーツを全国に広める活動に鋭意尽力中。

❖ 職歴・経歴

1971年生まれ。北海道室蘭市出身。

小学2年生からサッカーを始め、高校でバルセロナオリンピック代表候補となる。

1990年 室蘭大谷高校から古河電気工業株式会社に入社

1991年 ジェフ市原とプロ契約

1993年 Jリーグ開幕半年後に、交通事故により脊髄損傷、車椅子生活となる。

1994年 千葉ホークスに入り、車椅子バスケットボール選手としてスタートを切る。

2000年 シドニーパラリンピック、04年アテネパラリンピックの日本代表となる。

2008年 北京パラリンピックでは、日本代表団の主将も務める。

2011年11月のアジア・オセアニア地区予選では、日本代表として最年長ながら全試合出場、ロンドンパラリンピックへの出場権獲得に大きく貢献した。

2012年 ロンドンパラリンピック出場後、現役引退を宣言。

現在は、株式会社インテリジェンス（人材総合サービス業）提供の障害者専門人材サービス事業にて、自身の経験や視点を生かし、企業や個人に向けたアドバイスを行う「障がい者リクルーティングアドバイザー」として活動。また、障がい者スポーツを多くの人たちに広めたいと「夢」「出会い」「感謝」をテーマに全国で講演会を行ったり、車椅子バスケットボール教室なども積極的に行っている。

2009年春に、自身の実話が映画「パラレル」として公開。

2011年7月より、パラリンピアンとしての活躍、講演活動での教育現場への貢献が評価され、千葉県教育委員会教育委員に就任。

❖ 主な競技歴

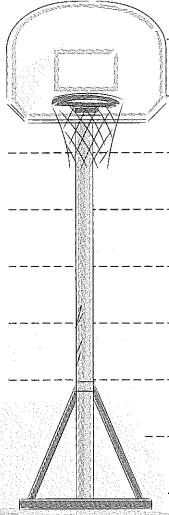
<サッカー>

1989年 日本ユース代表（高校2年） 1990年 高校選手権優秀選手

1991年 ジェフ市原入団（Jリーガー）



<車椅子バスケットボール>



2000年 シドニーパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表9位

2002年 ゴールドカップ車椅子バスケットボール日本代表、

全日本選手権ベスト5賞

2004年 アテネパラリンピック車椅子バスケットボール日本代表8位

2008年 北京パラリンピック日本代表。日本選手団の主将を務める。

1994・95・96・98・2003・05・06・07年

「千葉ホークス」で全日本選手権優勝

2000・02・04・07・08年 全日本選手権「ベスト5」賞受賞

2005年 全日本選手権「MVP」賞受賞

❖ 著書

『車椅子のJリーガー』（主婦の友社）、『パラレル』ノベライズ本（祥伝社）

事務局より

慶弔申請の窓口は事務局です

■ 詳しくは、士会ホームページの「慶弔についてのご連絡」をご確認ください。

■ 公益社団法人日本理学療法士協会

弔事への対応ならびに見舞金の支給に関する規定について

協会会員に弔事および被災があったときの弔意行動および見舞金について定めた規定があります。詳細は県士会ホームページをご覧ください。

入会申請について

新人職員の皆様、入会申請はお済みでしょうか？ もし協会からの刊行物が届いていない場合、入会手続きがなされていない可能性があります。是非、ご確認ください。

財務部より

会費納入ご協力ありがとうございます。

会費未納の会員の方々にお知らせ申し上げます。再度、確認のご連絡をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

● 問い合わせ先：事務局 藤田 yamanashi.pt.jimu@gmail.com

第14回 地域理学療法研修会のお知らせ

1. テーマ 『地域包括ケア推進に向けた医療・介護連携とリハビリテーション』
2. 日時 平成27年1月24日(土) 14:30～17:30(14:00受付)
3. 場所 山梨大学医学部キャンパス 臨床講義棟 大講義室
山梨県中央市下河東1110番地
4. 講師 医療法人池慶会 池端病院 理事長・院長 池端幸彦先生
5. 対象 理学療法士会会員および医療福祉関連職種の方
6. 参加定員 300名(定員を超える応募があった際には、当方にて選考させていただきますことをご承知おきください)

- ① 駐車場の数に限りがございますのでできるだけ乗り合わせてお越しください。
- ② 当研修会は新人教育プログラム C-5(地域リハビリテーション)ないし、専門・認定理学療法士ポイントとして10ポイントが認められます。また、地域包括ケア・介護予防推進リーダー士会指定事業に位置づけられております。
*会員証を忘れずにご持参ください。
- ③ 参加希望者は当士会HP(<http://ypta.jp>)内の申込用紙に所属・職種・氏名等を記入し、1月17日(土)までに下記 e-mail アドレスまでメールに添付してお申し込み下さい。

●お申込み先 お問い合わせ先

巨摩共立病院内 山梨県理学療法士会 地域連携部 三枝直人

TEL 055-283-3131 FAX 055-282-5614 e-mail:chiikirenkei19@yahoo.co.jp

第8回学術研修会

- 日時：平成27年2月15日(日) 10:00～15:00
- 場所：アピオ甲府
- テーマ：片麻痺者の歩行とゲイトソリューション
- 講師：国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 教授 山本澄子先生
- 資料代：1000円
- 定員：制限なし

●お問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔

石和共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-263-3131

リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるといって、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part25-1

湯村温泉病院 平川 由美

上野先生からご紹介頂きました湯村温泉病院の平川です。上野先生とは専門学校時代からの友人であり、卒業してから早十年ほど……。皆それぞれ結婚し、子供が生まれ変化の時を迎えています。私も今年結婚式を挙げ、職場の皆様のサポートのもと、ヨーロッパへ新婚旅行に行かせて頂きました。異国の地の風景は現実を忘れさせてくれます。同時に、習慣や文化の違いを知り、日本は素晴らしいなあと感じました。というのも、帰りのフライトでちょっとしたアクシデントに遭遇しました。ストライキ……。フランスの航空会社では日常茶飯事とのこと……。原因はわかりませんが、自分の意思を主張することは私の苦手とするところで、ちょっと尊敬してしまいましたが、乗客への影響は多大なもの……。遭遇したくないアクシデントでした……。



最後にPTっぽい視点で、こんな写真を撮ってみました。日本では、優先席が区切られている場面はよく見ますが、椅子の高さに着目しているとは、さすがというべきでしょうか……。異国の地でいい経験をし、日常に戻り頑張っていこうと思います。

次回は、『恵信りほく病院 横内香織先生』です。宜しく願い致します。

Part 25-2

塩山市民病院 藤岡 宏明

もちづき整形外科リハビリクリニックの小林 力先生より引き継ぎました

藤岡宏明と申します。

突然ですが、皆さんは「日本三大美祭」という言葉をご存知でしょうか？

僕は埼玉県秩父の出身なのですが、ちょうど会報誌の発行される12月には「岐阜県の高山祭」、「京都府の祇園祭」と並び、日本三大美祭の一つとされる「秩父夜祭」が開催されます。

この日は人口約7万人の秩父市に20万人以上の観光客が押し寄せるほどに賑わいます。

大通りや商店街を6台の大きな屋台・傘鉦が御旅所と呼ばれる目的地に向け、笛や太鼓を鳴らしながら曳かれ進んでいく姿は圧巻です。

また、山梨県には有名な夏の花火大会がありますが、真冬の冷たく澄んだ空気の中で、熱々の豚汁を片手に見る一尺玉の花火は夏のものとは違った趣があります。

雁坂トンネルが開通したことで山梨県と埼玉県は非常に近づきました。機会があれば、ご家族やご友人と一度行かれてはいかがでしょうか？

次回は、『一宮温泉病院の高嶋 悠先生』です。よろしくお願い致します。



原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

※第144号発行は、3月下旬を予定している為、締め切りは、1月下旬です。

●問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟
一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション
TEL 0553-20-5255 E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

お知らせ

第34回 関東甲信越ブロック理学療法士学会

テーマ

「今、歩むべき道」

～生活を見据えた理学療法～

○会 期 平成27年9月12日(土)

～13日(日)

○会 場 アピオ甲府

○学会長 高村 浩司 (健康科学大学)

○準備委員長 山田 洋二 (甲府共立病院)



締め切りまで半年を切りました。演題をご準備下さい！

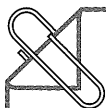
地元、山梨からのポスター発表・口述発表をお待ちしております！

演題登録期間は平成27年3月下旬～4月末を予定

編集後記

日々寒さが厳しくなってきておりますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？本年度第2号の会報誌を会員の皆様にお届けすることができました。本年度の会報誌は次号を残すのみとなりましたが、年末は何かと慌ただしく体調も崩しやすいので会員の皆様におかれましては風邪などひかぬよう体調管理に努めていただければと思います。それでは、良いお年をお迎えください。

菊池 悟



- 発行 ● 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 代表 ● 小林 伸一
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 糸井 美里 矢崎 博美 深川 洋平
小尾 文香 野澤 和矢
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp